

各務原市の文化振興のあり方（案）への ご意見と市の考え

本市の文化振興の推進のため、「各務原市の文化振興のあり方（案）」を取りまとめて公表し、皆さまからの意見を募集するパブリックコメントを実施しました。

その結果、5名の方からご意見をいただきました。

ご意見と市の考え方は次頁以降に記載のとおりです。提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類しました。（順不同）

なお、本パブリックコメントにより、重点施策を1項目追加しました。その他、趣旨を変えない範囲で字句等の修正を行いました。

◆実施期間

令和8年1月1日（木）から 令和8年1月23日（金）まで

◆意見の提出状況

提出者数 5名

提出意見数 14件

ご意見①：位置づけ目標値等について

対象箇所	第1章「文化振興のあり方」とは <P4> 3. 本計画の位置づけ (1)「各務原市総合計画」における位置づけ・目標値 【目指す姿】【達成指標】
ご意見	
<p>目指す姿に記載されている「気軽に体験・参加できる環境が整備され、街中や市民生活に文化芸術が溶け込んで、市民の心にゆとりや豊かさ、活力がもたらされる」まちを目指すという指針は素晴らしい指針だと思います。</p> <p>達成指標に記載されている「芸術文化に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合」について基準値の27.3%に対して目標値が「UP」となっており、数値目標が無いのは良くないと思います。「各務原市美術展の来場者数」は1,595人を2,000人にするという目標値が有るならば、それに伴って割合の目標値を50%にしたいものだと考えます。</p>	
各務原市の考え	
<p>第1章の「文化振興のあり方」では、達成指標と目標値を掲載していますが、これらは本市の最上位計画である総合計画における「文化芸術」に関する項目を引用して記載したものであります。</p> <p>達成指標ごとの目標値については、定量的に測定可能な項目については具体的な数値目標を設定していますが、市民アンケート調査等から評価する主観的な指標については、数値目標の設定が困難であるため、定性的な表現（UP）を用いています。</p> <p>ご指摘の項目は、定性的な目標値となっていますが、本プランに基づく取組を推進することにより、現状よりも「芸術や文化に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合」が向上するよう着実に事業を推進してまいります。</p>	

ご意見②：位置づけ目標値等について

対象箇所	第1章「文化振興のあり方」とは <P5> 3. 本計画の位置づけ (2)「しあわせ実感かかみがはら総合戦略」における位置づけ・目標値 【重点業績評価指標(KPI)】
ご意見	
<p>平成22年をピークに各務原市の人口が減少しています。何が原因なのでしょう。私は各務原市に住んで38年になりますが、とても住みやすいです。</p> <p>「文化芸術体験への子どもの参加数」を1,484人から1,630人に増やすという目標値を是非実現して欲しいです。人は年齢に関わらずワークショップが好きですから。</p>	
各務原市の考え	
<p>日本の総人口は平成20(2008)年をピークに減少に転じ、その後も深刻なスピードで人口減少が進行しています。</p> <p>本市の状況に目を向けますと、昭和38(1963)年の市制施行から一貫して増加してきましたが、平成22(2010)年をピークに減少に転じています。出生数、死亡数の推移については、平成25(2013)年度に死亡数が出生数を上回り、以降は出生数が減少していることから、死亡数と出生数の差が広がっています。また、転入数・転出数については、緩やかな増減を繰り返しながら推移しています。</p> <p>このように、人口減少の最大要因は「死亡数が出生数を大きく上回る自然減」の加速ですが、その背景には未婚や晩婚化、経済的な不安や価値観の多様化といった要因が複合的に影響しているものと考えております。</p> <p>そのため、本市では総合計画における最重点プロジェクトに「人口減少対策」を掲げ、分野を横断した複合的な施策によるアプローチにより、人口減少の「抑制」と「適応」の両面において、総合的な対策に着手しています。</p> <p>このような状況のなか、より多くの方に「住みたいまち」として選んでいただけるような都市へと成長するため、本プランでは未来を担う子どもたちへの文化芸術分野の取組を充実させていくこととしております。</p> <p>ご指摘の指標については、子どもたちの文化芸術の鑑賞や体験の参加者数を増やすことを設定しておりますが、その意図として、文化芸術体験を通して郷土への誇りの醸成や愛着の心を育んでもらいたいといったものでありますので、目標の達成に向けて教育委員会や公益財団法人かかみがはら未来文化財団とも連携して取り組んでまいります。</p>	

ご意見③：文化振興に関する市の取組について

対象箇所	第2章 文化振興に関する市の取組 <P13> 1. 文化芸術に関する市の現状 (3) 文化財団の取組 ③実行委員会事業
ご意見	
<p>学びの森・市民公園で開催された各務原マーケット日和を訪れました。</p> <p>雨が降ったりやんだりの日でしたが、多くの来場者で賑わっていました。若い世代、子どもや赤ちゃん連れの家族、友人たちとマーケットで販売の物をお求めになる方の姿も目立ち、活性化していてビックリしました。(P26「文化芸術による地域の活性化」にも通じます。)</p> <p>公園内の中央図書館でも、ワークショップが開催されており、「まちと関わりたい」と感じるきっかけ、「まち」と「人」をつなぐ交流の場となったイベントだと感じました。来年の開催も楽しみです。</p> <p>出来ましたら、中央図書館3Fの展示室A・Bも活用(絵画展などを同時開催)する事で、「芸術文化に親しむ機会が充実していると感じる」割合がUPするのではないかと思います。</p>	
各務原市の考え	
<p>各務原マーケット日和は「文化芸術」と「マーケット」を融合させることを通じて「ひと」と「まち」がつながる機会の創出を目指したイベントであり、本市を代表するイベントとして市内外から多くの方にご来場いただいております。</p> <p>このイベントは実行委員会形式で実施しており、委員会の構成員としては、市や茶華道連盟に加え、「かかみがはら未来文化財団」や「かかみがはら暮らし委員会」等の団体も参画しているほか、イベントを応援してくれるサポーターの方々など、非常に多くの方が企画や運営に携わっています。</p> <p>このようなことから、ご提案いただきました中央図書館の展示室を活用した同時開催事業につきましては、それぞれの事業の実施主体との調整も必要でありますので、ご意見を実行委員会や市の関係部署にも伝えるとともに、その実現の可能性や具体的な方法について検討してまいりたいと考えております。</p>	

ご意見④：文化振興における課題について

対象箇所	第3章 文化振興における課題 <P15> 2. 市民アンケート結果 (1)「まちづくりに関する市民意識調査」の結果
ご意見	
<p>「芸術・文化・歴史」が重要と感じている方が半数以上なのに満足度は3割以下。何故でしょうか。美術館、博物館に出向くとしても、各務原市には有りません。</p> <p>学習と密接な中央図書館1Fフロア・3F展示室や、生活に近い各務原市役所での企画展の開催を充実させることも重要であると思います。</p>	
各務原市の考え	
<p>市民意識の調査結果については、今後の改善が必要な課題であると認識しております。</p> <p>これまで中央図書館の展示室では、各種クラブサークル団体や個人の方を中心に、絵画展や写真展をはじめ、文化芸術関係の多種多様な展示会が開催されるなど、多くの方にご利用いただいております。市民の皆さんが気軽に文化芸術に触れられる機会を設けて頂いております。</p> <p>また、ライフデザインセンターや福祉センターのほか、国の重要有形民俗文化財に指定されている村国座などでも、クラブサークル発表会や様々な展示会のほか、音楽イベント等も開催されています。</p> <p>このように、身近な場所にある多様な施設を活用した展示会やイベントが数多く開催されているところではありますが、今後も気軽に足を運べるような場所において、多くのイベントが開催されるよう、市としても関与してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、市が直接的に実施する文化芸術関係の事業についても、訪れやすい場所での開催を検討するなど、ご来場いただきやすい環境を用意できるよう努めてまいります。</p>	

ご意見⑤：伝統的な文化芸術や地域独自の文化の継承について

<p>対象箇所</p>	<p>第4章 文化振興の今後の展開(方向性) <P23> 1. 取組の方向性 (2) 文化芸術を「つたえる」 基本方針 文化を未来に活かし伝える ①文化の継承と郷土愛の醸成</p>
<p style="text-align: center;">ご意見</p>	
<p>市所蔵の出土品や画家の作品の展示機会の充実や、唯一の生産地である絵絹に係るプロジェクト事業などを通して、当面の市独自の文化遺産の継承に更に努めていただくことを何らかの形で取り入れていただければ、施策としての厚みが増すのではないかと思います。</p>	
<p style="text-align: center;">各務原市の考え</p>	
<p>地域で受け継がれてきた伝統的な文化芸術や地域独自の文化を守り、継承するとともに、これらの文化資源を活用した取組を推進することは、市民の地域文化への関心を高め、郷土の文化に対する愛着と誇りの醸成に繋がります。</p> <p>ご意見にありますように、本市の貴重な文化的な資産や資源を適切に保存し、それらを活用して次世代に継承していくことは、極めて重要なことでもあります。</p> <p>ご指摘の考え方については「第4章 文化振興の今後の展開(方向性)、1. 取組の方向性、(2)文化芸術を「つたえる」、①文化の継承と郷土愛の醸成」において包含していますが、より分かりやすく明確に方針を示すため、本計画内に以下の内容を追加します。</p> <p>【追加内容】</p> <p>○市独自の文化的資産の継承と発展</p> <p>市が所蔵する貴重な美術作品を未来に継承するため、適切な保存・修復、調査研究、作品資料のデジタル化などを進めるとともに、作品の魅力を広く発信し、学術振興と芸術文化の向上を図ります。</p> <p>このうち、本市の特徴的な文化的資産の一つである「絵絹」については、ワークショップや展覧会などを開催し、伝統文化や技術の次世代への継承を支援します。</p> <p>また、これらの魅力を広く伝えていくため、気軽に触れられる機会の充実も図っていきます。</p> <p style="text-align: right;">(プラン変更あり)</p>	

ご意見⑥：情報発信の強化について

対象箇所	第4章 文化振興の今後の展開(方向性) <P23> 1. 取組の方向性 (2) 文化芸術を「つたえる」 基本方針 文化を未来に活かし伝える ②情報発信の強化
ご意見	
方向性として記載されている「広報紙に加え、ウェブサイトや SNS などを積極的に活用し、より多くの方が文化芸術に関心を持ち、参加しやすい環境を整えます。」という考えは、素晴らしいと思います。是非お願いしたいと思います。	
各務原市の考え	
これまで、市の広報紙やウェブサイトのほか、文化財団が発行する情報紙やイベントポスター等により、積極的な情報発信に努めています。 今後はそれらに加えて、特に若い世代に対する情報発信として、昨今は SNS を活用することが非常に効果的であることから、各種 SNS を積極的に活用し、より一層、情報発信力を強化していきたいと考えております。	

ご意見⑦：本市が持つ多様な文化資源を最大限に活かした事業について

<p>対象箇所</p>	<p>第4章 文化振興の今後の展開(方向性) <P26> 1. 取組の方向性 (4) 文化を「いかす」 基本方針 文化の持つ力を活かして地域を活性化させる</p>
<p style="text-align: center;">ご意見</p>	
<p>各務原市がほぼ100%の生産シェアを持つ「絵絹」を文化資産(資源)と位置付け、さらなる伝承の取り組みを計画に入れていただくよう希望いたします。</p> <p>「絵絹」は日本の絵画文化の根幹をなしてきたし、今後も多くの作家によりこれを用いた制作がなされて行くものと思います。それを制作する織元が今や各務原市の2か所となっております。</p>	
<p style="text-align: center;">各務原市の考え</p>	
<p>地域で受け継がれてきた伝統的な文化芸術や地域独自の文化を守り、継承するとともに、これらの文化資源を活用した取組を推進することは、市民の地域文化への関心を高め、郷土の文化に対する愛着と誇りの醸成に繋がります。</p> <p>ご意見にありますように、本市の貴重な文化的な資産や資源を適切に保存し、それらを活用して次世代に継承していくことは、極めて重要なことでもあります。</p> <p>ご指摘の考え方については「第4章 文化振興の今後の展開(方向性)、1. 取組の方向性、(2)文化芸術を「つたえる」、①文化の継承と郷土愛の醸成」において包含しているものでありますが、より分かりやすく明確に方針を示すため、本計画内に以下の内容を追加します。</p> <p>【追加内容】</p> <p>○市独自の文化的資産の継承と発展</p> <p>市が所蔵する貴重な美術作品を未来に継承するため、適切な保存・修復、調査研究、作品資料のデジタル化などを進めるとともに、作品の魅力を広く発信し、学術振興と芸術文化の向上を図ります。</p> <p>このうち、本市の特徴的な文化的資産の一つである「絵絹」については、ワークショップや展覧会などを開催し、伝統文化や技術の次世代への継承を支援します。</p> <p>また、これらの魅力を広く伝えていくため、気軽に触れられる機会の充実も図っていきます。</p> <p style="text-align: right;">(プラン変更あり)</p>	

ご意見⑧：文化芸術活動を支える拠点づくり(新拠点建設)について

<p>対象箇所</p>	<p>第2章 文化振興に関する市の取組 <P9・10></p> <p>1. 文化芸術に関する市の現状</p> <p>(2) 小中学校における取組</p> <p>第4章 文化振興の今後の展開(方向性) <P21・22・28></p> <p>1. 取組の方向性</p> <p>(1) 芸術文化に「ふれる」</p> <p>基本方針 身近に文化芸術にふれることができる環境をつくる</p> <p>②質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供</p> <p>2. 文化芸術活動を支える拠点づくり</p>
<p>ご意見</p>	
<p>身近に文化芸術にふれることができる環境をつくることの重要さは市案に詳述されており、大いに共感するところです。市の今日の文化施策の多大な成果ともいえる音楽演劇活動の活性化(特に「音楽の街」各務原ともいわれる。)は、文化会館の存在を抜きにしては考えられませんし、産業文化振興の成果である航空宇宙博物館は、全国から人を集めています。</p> <p>一方で、本市は潤之助、節太郎をはじめとする市出身画家などの膨大な所蔵作品を持ち、古代から中世に至る歴史遺物も数多く出土しています。これらの各務原市の宝ともいえる所蔵品は文化振興の重要な柱として位置づけられてはいますが、文化会館に比して、これらは中央図書館の一部を間借りして管理や展示をしているため、「より多くの市民が魅力的な企画や展示の充実を図ることが可能な」文化会館に比する施設があればと、私の知る限り、市民の間で常に話題になっています。</p> <p>市民の制作した美術作品の発表を、他都市の会場に求めている場合もあります。こうした美術博物館(仮称)またはそれに類する核とした独立施設がないことが、若手美術家の作品発表や、市美術展などへの参加意欲にも影響があるのではないのでしょうか。美術博物館は、小中学校における美術鑑賞教育や、郷土の歴史を知る教育機会ともなります。美を求める市民にとって積年の悲願でもあり、今後の都市間競争の要ともなる市の文化(観光)ステータス施設の象徴として、美術博物館の建設に関心を示していただけないかと願っています。</p>	
<p>各務原市の考え</p>	
<p>新たな施設の建設に関するご意見について、市が主催する事業やイベントのほか、各種団体が文化芸術活動を行う場所として、大きなスペースを有する市内施設には、文化会館(市民会館・文化ホール)や、産業文化センター内にある「あすかホール」があります。</p> <p>また、規模は小さくなりますが、中央図書館やライフデザインセンター、福祉センターのほか、国の重要有形民俗文化財に指定されている村国座や、近年は岐阜かかみがはら航空宇宙博物館など、以前は活用していなかったようなスペースを活用して文化芸術に関する展示会や音楽イベントなども開催されています。</p> <p>このように、創意工夫をすることによって、様々なイベントや行事等が開催出来ていることなどから、現在のところ新たな施設を建設することは考えておりません。今後も既存の各種施設を最大限に活用し、文化芸術活動の活性化に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、若手美術家の活動支援や市美術展に関するご意見のほか、学校教育分野との連携に関するご指摘については、関係部署や本市の文化芸術行政を連携して進めている文化財団とも共有し、文化振興につながる有効な施策等を検討してまいりたいと考えております。</p>	

ご意見⑨：文化芸術活動を支える拠点づくり(新拠点建設)について

対象箇所	第4章 文化振興の今後の展開(方向性) <P28> 2. 文化芸術活動を支える拠点づくり
ご意見	
<p>美術、博物関係の独立した施設の建設を、将来的な課題として検討していただくことと望みます。</p> <p>現在ある文化会館は美術、博物関係の施設としては弱く、中央図書館3階の展示室も間借り的な感じです。箱もの行政の批判はあるかとは思いますが、一方で可児市の文化創造センターのようにシンボリックな施設の存在がその都市の文化的イメージの向上に大きく寄与していることも確かなことと思われまます。</p>	
各務原市の考え	
<p>新たな施設の建設に関するご意見について、市が主催する事業やイベントのほか、各種団体が文化芸術活動を行う場所として、大きなスペースを有する市内施設には、文化会館（市民会館・文化ホール）や、産業文化センター内にある「あすかホール」があります。</p> <p>また、規模は小さくなりますが、中央図書館やライフデザインセンター、福祉センターのほか、国の重要有形民俗文化財に指定されている村国座や、近年は岐阜かかみがはら航空宇宙博物館など、以前は活用していなかったようなスペースを活用して文化芸術に関する展示会や音楽イベントなども開催されています。</p> <p>このように、創意工夫をすることによって、様々な展示会やイベント等が開催出来ていることなどから、現在のところ新たな施設を建設することは考えておりません。今後も既存の各種施設を最大限に活用し、文化芸術活動の活性化に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本市の文化会館は、文化芸術を生み出して発信する拠点であると同時に、国内の優れた文化芸術を受け入れる場所となることに加えて、地域の文化的施設として市民の皆さんが気軽に文化芸術に親しむ身近な活動拠点としての役割もあります。これらの役割を果たすとともに、誰もが快適に利用しやすい施設としてあり続けられるよう、適切な管理運営にも努め、本市の文化的なイメージの向上につなげてまいりたいと考えています。</p>	

ご意見⑩：文化芸術活動を支える拠点づくり(新拠点建設)について

対象箇所	—
ご意見	
<p>市民全体の芸術文化レベルのバロメーターと言える各務原市美術展が産業文化センター1階にある「あすかホール」で年1回開催されている。</p> <p>現状では、毎年市美術展を「あすかホール」にて開催されているが、会場照明も悪く、狭くて展示されている作品が映えない。来館者が次の出品応募への意欲が沸いてこない。</p> <p>知り合いの多くは、各務原市を避けて近隣の可児市・美濃加茂市・江南市（中には遠く高山市）などへ挑んでいる者もいる。</p> <p>現状の改修よりも、別の場所（地域）に文化創造センターの建設を切に願う。</p> <p>各務原市は地理的に東西に細長いので、東の方には地域発展に繋がるような公共施設が乏しいと思われるので、出来れば鶯沼地区に建設を願う。</p>	
各務原市の考え	
<p>新たな施設の建設に関するご意見について、市が主催する事業やイベントのほか、各種団体が文化芸術活動を行う場所として、大きなスペースを有する市内施設には、文化会館（市民会館・文化ホール）や、産業文化センター内にある「あすかホール」があります。</p> <p>また、規模は小さくなりますが、中央図書館やライフデザインセンター、福祉センターのほか、国の重要有形民俗文化財に指定されている村国座や、近年は岐阜かかみがはら航空宇宙博物館など、以前は活用していなかったようなスペースを活用して文化芸術に関する展示会や音楽イベントなども開催されています。</p> <p>このように、創意工夫をすることによって、様々な展示会やイベント等が開催出来ていることなどから、現在のところ新たな施設を建設することは考えておりません。今後も既存の各種施設を最大限に活用し、文化芸術活動の活性化に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、市美術展の会場である「あすかホール」はさまざまな用途で利用できる多目的ホールであるため、照明などの点においては調整範囲に限界がありますが、会場のレイアウトや展示方法を工夫するなど、より良い展示環境について試行錯誤しながら、出品者や来館者の満足度が向上するよう努めてまいりたいと考えております。</p>	

ご意見⑪：文化芸術活動を支える拠点づくり(新拠点建設)について

対象箇所	—
ご意見	
<p>芸術創造の発表の場として中央図書館3階にある「展示施設A・B」がある。</p> <p>各務原市が誇る古墳遺跡からの出土品の展示施設と混在していて、どちらにとっても、機能が発揮できていない。明確な棲み分けが求められる。</p> <p>市民にとっての創作活動の実力披露の場として中途半端です。博物館機能と市民芸術創造活動展示施設の曖昧な現状にある。</p>	
各務原市の考え	
<p>中央図書館の3階にある展示室は、文化芸術作品をはじめとして、創造性や独創性を発信する場として、多種多様なニーズに対応し、幅広い用途でご利用いただいております。</p> <p>一方、同じフロアにある歴史民俗資料館の展示品スペースについては、本市の歴史や民俗などに触れる貴重な資料を公開する場として重要な役割を果たしていると考えております。</p> <p>それぞれ異なる機能や目的の施設が同一フロアに隣接して配置されておりますが、それによって本来の来館目的以外の歴史や文化、あるいは美術や芸術分野との「偶然の出会い」が生まれる事もあるなど、新たな発見に繋がるようなこともあります。</p> <p>今後も限られた公共施設の空間を有効に活用していくため、それぞれのスペースの特性や特徴を尊重しつつ適正な施設管理を行い、より多くの方々に快適にご利用いただけるよう努めてまいりたいと考えております。</p>	

ご意見⑫：文化芸術活動を支える拠点づくり(新拠点建設)について

対象箇所	—
ご意見	
<p>各務原市では、産業文化センターで芸術文化活動を支援して、サークルクラブ講座のために施設を提供している。そうであるならば、その活動成果を発表してもらう施設が求められる。</p> <p>結論的に、市美術展開催や市民創造活動発表展示を含めて東西に長いことから、一点集中のようにグランドデザインを基にして、ぜひ鵜沼地区を希望する。</p> <p>(近隣では、美濃加茂市や可児市の文化創造施設を、他にもせつかく多額の財政を投入して建造した美術館や博物館も参考にしてみたい。)</p> <p>鵜沼地区に各務原市が目指すものは、かしこまった威厳の象徴のような施設ではなく、展示施設の周りを取り囲むように当然ながら広い駐車スペースを最外周に設け、四方から参集できる道の駅のような施設で地域の地産地消を行い、祝祭日には市民が参画できる「マルシェ」や「蚤の市」のような施設なども配置して、絶えず賑わっていることを狙いたい。</p> <p>せつかく多額の財政運営にはアイデアに満ち溢れたものを目指してみたい。</p>	
各務原市の考え	
<p>クラブサークル団体等の活動成果を発表する場として、クラブサークルの皆さんが実行委員となり企画、参画する発表会が毎年、開催されており、市内に4か所あるライフデザインセンターを中心に、市も開催の支援をしています。</p> <p>これらの発表会以外にも、福祉センターや中央図書館の展示室のほか、文化会館（市民会館・文化ホール）などの公共施設や地元の公民館のほか、身近な場所にある店舗等を活用して様々な団体やクラブサークルの皆さんによる展示会や発表会などが開催され、日頃の活動成果が披露されています。</p> <p>このように、既存の公共施設や民間の施設等を活用して、活動成果の発表を行う場所が確保できていると考えるため、現在のところ新たな施設を建設する予定はありません。今後も既存の各種施設を最大限に活用し、市民の皆さんが行っている文化芸術活動の成果の発表に対しても必要な支援を続けてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、市では「クラブサークル団体」として認定を受けた団体に対しては、公共施設の使用料減免など、財政面における支援措置を講じており、このような制度もご利用いただきながら活動成果の発表が活発に行われることを期待しています。</p>	

ご意見⑬：文化芸術活動を支える拠点づくり(中央図書館)について

対象箇所	—
ご意見	
<p>「文化的処方」とは、医療・文化施設・地域のコミュニティが連携し、まちにある多様な文化活動へ人々をつなぐ取組です。「ウェルビーイング」とは、人々が身体的・精神的・社会的に良い状態を示す言葉です。</p> <p>「文化的処方とウェルビーイングの考え方」とは、アートの社会的価値を明らかにする活動を通して、ウェルビーイングの状態を継続できるように推進していくことを目指すものです。</p> <p>少子化と同時に高齢化も進みます。「あり方」では、公募展等の障がい者に関する内容に触れられていました。既存の展示室での展覧会は、車椅子の来場者にも無理なく対応しております。高齢化という側面で、今後、美術鑑賞や作品発表のために中央図書館展示室を利用される方も増えてくるのではないかと思います。</p> <p>作品展示という「目的に合致」したスペースで作品展示を行うことで、「文化会館＝音楽」、「中央図書館展示室＝アート」という、2つの環境で「文化に触れる」シニア向けの鑑賞や、子ども向けの教育サポートが充実するのではないかと思います。</p>	
各務原市の考え	
<p>ご指摘のとおり、文化会館（市民会館・文化ホール）は主に音楽や演劇活動などの拠点施設としての機能が充実しています。また、中央図書館にある展示室は文化的なものや美術芸術作品等の展示に適した空間となっております。</p> <p>今後も、それぞれの施設の特徴や特性を活かした利用が促進されるよう、適正な維持管理に努めるとともに、世代ごとに求められる事業の企画等についても力を入れてまいりたいと考えております。</p>	

ご意見⑭：その他(印象に残った企画展について)

対象箇所	—
ご意見	
【中央図書館 展示室 A・B (3階)】	
○ 令和7年「@えぎぬ展」は、絵画は勿論の事、絵絹サンプル、墨絵体験コーナーも有り充実感がありました。新聞掲載された「権」出土品が、会場受付に同時開催展示されており、タイムリーで良かったと思います。	
○ 令和5年「石器の魅力 ～大集合！各務原市の石器～」は、スタッフの説明動画を楽しみながら勉強する事が出来、コレクションも素晴らしかったです。	
○ 令和4年「蓑虫山人 各務原に行く」は、滅多に拝見出来ない絵画と貴重な資料に魅せられました。質の高い展覧会だったと思います。	
【市役所 ヒストリーウィンドウ (1階) ・アートウィンドウ (2階)】	
○ 令和7年のアートウィンドウでは「三輪乙彦展」ではブロンズや桂の木、アラバスターを素材として用いた質の高い作品が展示されました。この企画展を皮切りに、各務原市に関係する作家の作品を紹介していくという計画に期待しています。	
各務原市の考え	
本市主催の各種事業に対して評価をいただきありがとうございます。 ご意見を踏まえ、今後も魅力的な作品展や展示会の開催に向けて努力するとともに、それらの事業を通じて、本市の文化芸術活動の活性化につなげてまいりたいと考えております。	

(以上)